

2019年度触媒学会 水素の製造と利用に関するシンポジウム 「エネルギーキャリアとしてのメタノールの利用」

趣旨：水素社会構築の多様化のためにメタノールをエネルギーキャリアとする方策について考える。

日時：2019年11月14日（木）13時20分～18時（13時受付開始）

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 119 講義室 (https://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html)

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

主催：触媒学会「水素の製造と利用のための触媒技術研究会」

共催：首都大学水素社会構築推進研究センター

協賛(予定)：日本エネルギー学会、石油学会、水素エネルギー協会、日本表面真空学会、
日本化学会、炭素材料学会

プログラム：

13：20～13：30 シンポジウム趣旨説明 中村 潤児（筑波大学数理物質系 教授）

13：30～14：30 講演者：石田 政義 氏（筑波大学システム情報系 教授）

講演タイトル「水素の社会実装に向けた課題とメタノール水キャリア適用への期待」

14：30～15：30 講演者：吉原 純 氏（三菱ガス化学株式会社天然ガス系化学品カンパニー企画開発部）

講演タイトル「メタノール製造の現状と展望」

15：30～15：45 休憩

15：45～16：45 講演者：藤谷 忠博 氏（産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター総括研究主幹）

講演タイトル「二酸化炭素を原料とするメタノール合成触媒の開発」

16：45～17：45 講演者：岸本 治夫 氏（産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門 主任研究員）

講演タイトル「固体酸化物形燃料電池(SOFC)での燃料多様化」

18：00～19：30 頃 交流会（“嘉ノ雅”茗溪館 <茗溪会館内>）

参加費（含予稿集代）：会員（含協賛学会員）5,000円、非会員10,000円、学生1,000円

交流会費：4,000円（予定）

連絡先・申込先：参加申込時には「2019年度触媒学会水素シンポジウム」と表記し、会員資格（触媒学会会員、協賛学会会員もしくは非会員）、ご氏名、勤務先、連絡先、交流会参加の有無を明記し、2019年10月31日までに下記連絡先（電子メールまたは葉書）へお申込み下さい。

<連絡先>

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学数理物質系 エネルギー物質科学研究センター

中村 潤児 E-mail: nakamura@ims.tsukuba.ac.jp

TEL/FAX: 029-853-5279 (直通)